

No.141	令和8年度 成育疾患克服等総合研究事業	
機関名	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	
募集締切 (公募機関)	2025年12月15日(月) 正午【厳守】	
本部研推締切日	研究推進部 事前連絡締切日	2025年12月8日(月)
応募方法	e-R a dによる提出 ※e－R a dへの応募情報の提出は各申請者が行ってください。	
所属研究機関の承認(e-Rad)	必要	
研究推進部 事前了解 (原議書の回付)	不要	
概 要	●事業概要 人は受精・妊娠期に始まり、胎児期、新生児期、乳幼児期、学童期、思春期、性成熟期、成人期、更年期及び老年期までそれぞれのライフステージに位置し、各々のステージにおける健康課題が存在します。次世代の社会を担う成育過程にある者の個人としての尊厳が重んぜられ、その心身の健やかな成育が確保されるためには、社会的要因がこどもの健康に及ぼす影響も含め、妊娠・出産・育児に関する問題や成育過程の各段階において生ずる心身の健康に関する問題に対する調査研究を通じて、成育医療等の状況、施策の実施状況やその根拠となるエビデンス、科学的知見等を収集し、その結果を公表・情報発信することが求められています。 本事業では、受精・妊娠から胎児期、新生児期、乳幼児期、学童期、思春期、性成熟期、生殖期それぞれのライフステージと、次の世代を創出し育成する一連のサイクルである「成育サイクル」を一気通貫の観点からも捉え、健康課題克服に向け、病態の解明と予防及び治療のための研究開発とその実用化を推進します。 ●公募研究開発課題 1. 先制医療実現に向けた周産期・小児期臨床研究開発等の推進 1-1 周産期・小児期の医薬品開発等に係る臨床研究のプロトコール作成 1-2 周産期・小児期の疾患等の予防及び治療に関する研究開発 1-3 周産期・小児期の疾患等の予測・診断・管理に関する医療技術開発 1-4 周産期・小児期の疾患等の予測・診断・管理技術の実用化に向けた研究 2. 乳幼児・学童・思春期の身体的・心理的・社会的な健康課題に対する効果的な早期介入に向けた評価・診断法の開発 2-1 身体的・心理的・社会的な発達に向けた診断・評価技術開発 3. 不妊症の解明と質の高い生殖補助医療の開発 3-1 生殖補助医療の質向上に資する検査・治療法の研究開発	

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。